

衆議院国土交通委員会ニュース

【第198回国会】令和元年5月24日（金）、第14回の委員会が開かれました。

1 建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第52号）

- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、共産、維新、社保）
- ・伊藤忠彦君外6名（自民、立憲、国民、公明、共産、維新、社保）から提出された附帯決議案について、津村啓介君（国民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、共産、維新、社保）

2 公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

- ・盛山正仁君外5名（自民、立憲、国民、公明、維新、社保）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者盛山正仁君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・清水忠史君（共産）から提出者盛山正仁君（自民）、津村啓介君（国民）及び中野洋昌君（公明）に対し発言がありました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、共産、維新、社保）

（発言者及び主な発言内容）

清水忠史君（共産）

- （1） 公共工事の施工時期の平準化の意味及び公共工事の従事者にとっての利点
- （2） 雇用保険に入らない一人親方の賃金等の労働条件及び労働環境を適正に整備するための改善策
- （3） 本法案に災害復旧工事等における随意契約等の活用が明記されたことについて、手続の透明性及び公平性の確保も含めた地方自治体にとっての意義

3 公共工事の品質確保の促進に関する件

- ・伊藤忠彦君外6名（自民、立憲、国民、公明、共産、維新、社保）から提出された公共工事の品質確保の促進に関する件の決議案について、提出者道下大樹君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、共産、維新、社保）
- ・石井国土交通大臣から発言がありました。